

# 2013年度 事業計画

## ヘルパーステーションそらいろ

### 1、そらいろの使命

**使命**：地域（城陽市、宇治市、京都市伏見区向島、京田辺市田辺・河原とその周辺）で暮らす障がい者、家族が『当たり前暮らし』を送れるよう、適切な支援を行う。

- \* 利用者の障害特性を理解するためのアセスメントを重視。アセスメントに基づいた個別支援計画を中心に適切な支援を行って行く。
- \* 地域の中の社会資源のひとつとして、同じ地域の支援センター、事業所と連携をとり、地域福祉ネットワークを構築していく。

### 2、事業内容

事業内容	概要	対象エリア
居宅介護（身体介護、家事援助等） 重度訪問介護 行動援護	障害者総合支援法に基づく介護給付費の事業（国）	城陽、宇治、伏見区向島 京田辺田辺・河原
移動支援	地域生活支援事業（市町村）	
宿泊サービス	制度外の独自サービス。	

### 3、年間テーマ

**支援力アップ**

### 4、年間目標

- ① 職員研修計画を立て、職員のスキルアップを目指す。
- ② スタッフ間の情報共有を深める。
- ③ 現状の利用者について支援の質を深める。
- ④ 事業収入は昨年度の1.5倍を目指す。

### 5、職員体制

管理者	1名
サービス提供責任者	1名
常勤ヘルパー	1名
登録ヘルパー	6名

登録ヘルパー募集は行わない。

## 6、具体的計画

### ① 職員研修計画を立て、職員のスキルアップを目指す。

#### \* 障がい特性を学ぶ研修

- ・ 自閉症
- ・ 精神障がい
- ・ 医ケア

#### \* 個別支援計画を学ぶ研修

- ・ アセスメントの意味と方法
- ・ 支援計画作成の方法
- ・ 計画の評価の意味と方法

#### \* 障がい福祉制度について学ぶ研修

- ・ 障がい者福祉関係法令の今後の動向について等。

#### \* パソコン操作・諸事務のやり方を学ぶ

- ・ 定例業務について、引き継ぎ可能なものを引き継ぐ。  
→ 給付費請求事務、実績記録票の印刷・用意、備品管理、館内清掃など

### ② スタッフ間の情報共有を深める

#### \* 支援技術の共有を図る

- ・ 有効な支援方法について情報を共有する。  
→ 『気付き』についてケース記録への記載を行う。  
ケース記録の確認を行い、担当者に引き継ぎを行う。

#### \* 利用者の様子を共有する

- ・ 定期的（毎月）にスタッフミーティング（ヘルパー会議）を行い、利用者のケースを共有する。
- ・ 支援時のトラブルは共有し、ヘルパーが抱え込まないようにする。

③ 現状の利用者支援について深める。

\* 支援技術の向上を図る

- ・ Yさんに対する、タン吸引等の医ケアの技術を習得する。
- ・ 自閉症支援等の支援方法についての正しい理解を共有する。

\* 利用者の関係機関と情報共有を計る

- ・ 通所施設、支援学校、居宅介護事業所などの過ごしの様子を確認する。
- ・ 関係機関へ見学に行く。

\* 個別支援計画の評価→再アセスメント→支援計画作りを重点的に行う

- ・ 担当スタッフでケア会議を行い、ケースの評価を行う。
- ・ 評価と新計画について、利用者（保護者）への説明を行う。

④ 事業収入は昨年度の1.5倍を目指す。

\* 営業日を増やす

- ・ 定休日の変更：(月)(火)→(火)のみ  
→運営規定、重要事項説明書の変更。  
京都府、利用者への変更の報告を行う。

\* サービス提供時間を増やす

- ・ 利用者一人あたりのサービス利用時間の増加を計る。

\* 利用者を増やす

- ・ 利用契約を進める。
- ・ 今年度の新規契約数は5名程度に止める。急激な増加による支援現場の混乱を避けるため。事故や不適切な支援を防ぐ。
- ・ 平日利用、定期利用の希望を積極的に受けていく。

⑤ 年間計画

4月	年度初め・ヘルパー会議（4/19）	10月	半期振り返り。 ヘルパー会議
5月	職員健康診断 ヘルパー会議 そらいろ研修（自閉症について）	11月	ヘルパー会議 そらいろ研修（未定）
6月	京都府行動援護従業者養成研修 ヘルパー会議	12月	ヘルパー会議
7月	ヘルパー会議 そらいろ研修（外出支援について）	1月	ヘルパー会議 そらいろ研修（未定）
8月	ヘルパー会議	2月	行動援護従業者養成研修 ヘルパー会議
9月	ヘルパー会議 そらいろ研修（未定）	3月	ヘルパー会議、年度末会議 バーベキュー大会

(ア) ヘルパー会議開催（毎月）

(イ) そらいろ研修（隔月）：事業所内部の勉強会